

健康のススメ

今回のドクター

在宅ホスピス医
斎藤 忠雄



テーマ 地域包括ケアシステム～新たな暮らしの支え方

団塊の世代(昭和22～24年生まれ)がすべて75歳以上となる2025年には、75歳以上の方が2000万人を超える、そしてその頃には約47万人の方の死に場所がなくなる、という衝撃的統計を2年前の平成24年4月、国が示しました。病気を病院で徹底的に治すという考え方から、病気と共に生きること、長寿ではなく天寿を全うすること、そして、病院や介護施設から住み慣れた地域で生きること(地域完結型)への意識の改革が求められたのです。

それを実現するには、人口約1万人規模(おおよそ中学校区)を一つの単位として、「すまい」、「医療」、「介護」、「介護予防」、「生活支援」の5つが包括的(利用者のニーズに応じた組み合わせのサービス提供)、継続的に行われることとして、「地域包括ケアシステム」が提唱され法律化されました。

医療、介護、介護予防、生活支援などは、それぞれの専門家(医師会などの職能団体)がそれなりの力を振るうことで可能ですが、基盤となるのは“すまい”の整備です。

特別養護老人ホームなどの施設を作るという国および市町村の予定は終了しました。今後は、自宅や空き家を利用したの整備となります。ここで一番重要なのは、住み慣れた地域でいつまでも住む、というしっかりとした、本人・家族の選択と心構え(覚悟)なのです。また、これら5つを結び付けるのは、市内27カ所に設置された地域包括支援センターがその役割を担うのですが、いまだその整備が十分ではありません。新潟市は来年度、市役所内に「地域包括ケアシステム支援室」を設置しサポートすることになりました。これまでの施設整備から一転、地域づくりへ進むこととなります。社会福祉協議会を含めた行政が、それぞれの職能団体の顔の見える関係構築を支え、さらには住民自身のお互いさまという思いやりの心が、新たなまちづくりの原点となります。ひとり暮らしの方、老老夫婦や認知症の方でも住み慣れた地域でいつまでも過ごせること、そしてがん末期の方でも最期を生きることができるようになります。

在宅療養支援診療所・緩和ケア診療所 斎藤内科クリニック

診療科目／内科

診療時間／月・火・水・金・土 9:00～12:00

※診察は完全予約制です。8:00より受付開始

休 診 日／木・日曜日、祝日

所 在 地／中央区高志2-20-3

電 話／025-287-5800

ホームページ／<http://smc-kanwa.jp/>

